

平成30年 7月31日発行

静岡県

図書館協会

会報 No.71



編集・発行 静岡県図書館協会

静岡市駿河区谷田53番1号
静岡県立中央図書館内

現状（いま）を精一杯、そして未来へ

静岡県図書館協会会長
静岡県立中央図書館長

三科 守



県立中央図書館に赴任して4か月が経ちます。社会人35年目にして初めての図書館勤務であり、右も左もわからず、この年齢で初任者の時代と同じような戸惑いを感じる場面もありましたが、有能なスタッフ陣、県民の知的関心に応え、静岡県全体の文化力の向上に資するため、本館と協力・協働していただく市町立図書館・専門図書館等の職員の方々、そして県立図書館を応援してくれる多くの皆さまに支えられ、だいぶ落ち着いて業務に当たれるようになって参りました。

昨年7月4日から、図書館のメインステージである閲覧室は、現在も使用できぬ状況が続いており、来館される県民の皆さまにはご不便をおかけしております。朝9時の開館を待ちかねたように、使用可能な学習コーナーに着席し、複数の専門書籍を開き、食い入るように読解しながら、時折メモを取るお客様の姿を見るにつけ、閲覧室使用再開の思いを強くします。それ以外の県立中央図書館の機能は全て臨時休館に入る以前の状態に復帰しており、現状で最大限可能なサービスを心掛けながら、今年度末の修復完成を目途に閲覧室の修復工事設計・施工を進めているところです。

また、こういった状況も踏まえ、既に公表されておりますとおり、昨年9月、東静岡駅南口県有地に形成を見込む「文化力の拠点」の図書館機能を担うものとして、県立中央図書館全面移転の方針が決定され、この方針をもとに、昨年度末、県教育委員会は「新県立中央図書館基本構想」をとりまとめました。これをもとに、この4月から、具体的で詳細な「新県立中央図書館基本計画」の策定に向けて動き始めています。

このように、昨年来、当館を取り巻く環境にはめまぐるしいものがありますが、県民の皆様には唯一の県立

図書館としてのサービスを充実していくことこそ、創設時からの使命であることを再確認し、より身近な図書館となるべく、中期計画2018-2021を策定し、ホームページにも公開し、去る6月8日に開催しました今年度第1回の静岡県立中央図書館協議会におきましても、委員の皆さまから、多くの建設的で有意義な御意見・御助言をいただいたところです。

「県民の力となり、地域の発展に寄与する」ことを基本的役割として位置づけ、1. 県立図書館ならではの資料とサービスを通じて、すべての県民の「知る」「学ぶ」を支える。2. 県内図書館サービスの充実のため、県域すべての図書館をつなぎ、支援する。3. 資料と情報を県民の財産として収集・活用し、未来へつなげる。この3つの活動を通じて、「調べる、考える、解決する」期待に応えていきたいと思っております。

建物がいかに老朽化しようと、県民の皆さまのために収集し、提供する知的財産である書籍や情報が充実し、全ての世代の要求に応え、あらゆるジャンルの専門性に対応し、満足していただける内容である限り、後は、そこで働くスタッフの一層のスキルアップと、また身体的な理由、地域的な理由等で情報の授受に弱い立場の方、日本語を解せない外国籍の方への配慮にも留意した、時代に沿ったサービスの提供等、運用の方法の工夫と、市町立図書館等とのより緊密な連携、図書館運営を応援し、支えていただいている様々な団体、個人の皆さまとの協働を大切にしていけば、当館はその求められる使命・機能を十分に果たしていくことができると確信します。それはまた、数年後に予定される新しい県立図書館にも、しっかりとつなげていきたいことです。

平成30年度 総会報告

平成30年度の静岡県図書館協会総会が、4月24日に静岡県立中央図書館で開催され、下記の議案が承認されました。

- 第1号議案 平成29年度事業報告案
- 第2号議案 平成29年度決算報告案・会計監査報告
- 第3号議案 常葉大学附属図書館富士図書館及び常葉大学短期大学部附属図書館之山文庫の退会申請
- 第4号議案 常葉大学付属図書館（草薙）の入会申請
- 第5号議案 図書館法に基づく条例で定められた図書館が、同条例によらない図書館機能を有する施設となった場合の会員の取り扱い
- 第6号議案 平成30年度事業計画案
- 第7号議案 平成30年度予算案
- 第8号議案 平成30・31年度役員等承認

平成30年度 静岡県図書館協会役員

理事長	三科 守	(静岡県立中央図書館)
副会長	杉山 靖	(沼津市立図書館)
副会長	市川 智章	(静岡市立中央図書館)
	鈴木 正仁	(浜松市立中央図書館)
	加藤 豊裕	(富士市立中央図書館)
	奥野 寿夫	(掛川市立中央図書館)
	浅井 勝巳	(吉田町立図書館)
	澤田 均	(静岡大学附属図書館)
監事	相磯 浩二	(伊豆市立修善寺図書館)
	小幡 壯	(静岡県立大学附属図書館)

※加盟館名簿順

<平成30年度事業計画>

- 会議・大会
- 理事会 第1回 (4/24)
- 第2回 (9月初旬・文書による決裁)
- 第3回 (2/22)
- 総会兼館長会 (4/24)
- 相互貸借担当者会議 (5/10)
- 静岡県図書館大会 (11/19)

研修・視察

- 図書館基礎研修 (4/20)
- レファレンス基礎研修 (5/17・5/24・6/7・6/14)
- 図書館広報研修 (7/6)
- 大学・専門図書館研修 (9/11)
- 資料保存研修 (7/20)
- 児童・青少年サービス研修 (9/27)
- レファレンス応用研修 (10/17・10/25)
- 図書館サービス研修 (12/12)
- 図書館運営研修 (9/5)
- 図書館情報交換会 (10/12・11/28・12/4)

専門委員会

- 調査研究委員会 (昨年度まで資料専門委員会)
年3回開催
- 図書館大会運営委員会 年5回開催

<平成30年度予算>

収入総額並びに支出総額3,360,000円の本年度予算が承認されました。

平成30年度 公立図書館等職員基礎研修「図書館基礎研修」の報告

4月20日、静岡県立中央図書館を会場として、公立図書館等職員基礎研修「図書館基礎研修」を開催しました。

講師に静岡文化芸術大学図書館・情報センター情報室図書係職員で日本図書館協会認定司書の堀内古季氏をお招きしての「図書館職員の基礎知識」についての講義、県立図書館職員による「図書館におけるコミュニケーション」、「図書館サービスと著作権概論」、最後に他館図書館職員同士のグループワークを行いました。

堀内氏の講義では図書館の定義と構成要素、図書館サービスと業務等基本的な内容を丁寧に説明していただき、図書館の利用者は職員を「本のプロ」と考えているので、その思いに応えられるようにしてほしいと話されました。講演の最後に、『バスラの図書館員』という本を紹介していただき、図書館員の使命、誇りについても学べる良い機会となりました。また、「図書館におけるコミュニケーション」は事例を通して利用者を第一に考えて対応するポイントを学び、「図書館サービスと著作権概論」では

演習しながら著作権に対する知識を深めました。研修の最後はグループワークで他の図書館員と交流し、日頃の業務について様々な事を共有することができ、有意義な時間となりました。

研修後は、「講師の勤務経験に基づいた話で分かりやすく、初心者にも理解できる丁寧な説明であった。」、「著作権は難しい内容が多かったが、コミュニケーション同様に職場で注意していきたい。」等の感想が寄せられました。



堀内古季氏による講義

子ども読書活動で

沼津市立図書館と小山町立図書館ボランティア「おはなしポケット」が文部科学大臣表彰を受賞しました

文部科学省では、毎年、4月23日を「子ども読書の日」とし、記念事業として“子ども読書活動推進フォーラム”を開催しており、合わせて子どもの読書活動優秀実践団体に対する文部科学大臣表彰を行っています。平成30年度は、図書館の部で沼津市立図書館が、団体（個人）の部で小山町立図書館ボランティアおはなしポケットが大臣表彰を受賞しました。

子どもが本に親しむ、より多くの出会いの場を求めて 沼津市立図書館

沼津市立図書館では「第2次沼津市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館ボランティアや学校、地域と連携して子どもたちが本と触れ合うことができるさまざまな取り組みを行っています。定例的な読み聞かせの会のほか、男性図書館職員による読み聞かせ（読みメンのおはなしの会）や英語講師による英語のお話の会は人気のイベントです。

男性の育児参加を促すための男性向けの読み聞かせ講座（読みメン講座）や、読み聞かせと工作企画展示などを総合化した「おはなしフェスティバル」「夏休みわくわく図書館」、ひとりひとりに適合した本の情報を提供する「夏休みこども読書相談」、さらに小中学生を対象としたビブリオバトルのほかブックスタートでは図書館が作成した「0歳からのおすすめの本」「2歳からのおすすめの本」のリス

トも配布するなどの多彩な事業を展開しています。

今後も幅広い年齢の子どもたちがより本に親しむことができるような、情報と環境を提供していく取り組みを進めてまいります。

（沼津市立図書館 事務長 山本 晴望）



沼津市立図書館

子どもたちが心豊かに育つ手助けを

小山町立図書館ボランティアとして、25年目を迎えました。現在は、20名の会員で毎週土曜日のおはなしの会を中心に、こども読書の日、夏・秋の夜のおはなし会、生涯学習フェスティバル等、図書館中心の活動と共に、出張おはなし会として、町内のこども園、小・中学校等、各種施設の依頼に応じて出掛けています。

おはなし会では、絵本の読み聞かせを中心に、紙芝居、素語り、朗読、人形劇、影絵、ブラックシアターを行っています。場に応じて、お話をより楽しく見聞きしていただけるよう工夫しています。

活動上の心掛けとして、常に見聞きしていただくといった謙虚な気持ちを持ち続けること、その為出来る限りの練習を積んで、よりよいものを提供することです。

小山町立図書館ボランティア「おはなしポケット」

これからも、初心を忘れず、子どもたちがより本に親しみ、心豊かに育ってくれる手助けが少しでも出来たらと思い、活動を続けるつもりです。

（おはなしポケット 代表 湯山 峯子）



おはなしポケット

平成30年度 新設図書館紹介 常葉大学附属図書館（草薙）

常葉大学附属図書館（草薙）は、平成30年4月、KUSANAGI LIBRARY と KNOWLEDGE SQUARE からなる「学生、教職員の学修・教育・研究の支援を行う図書館」としてオープンしました。

本学草薙キャンパスはA棟（ACT-SITE）、B棟（BASE-SITE）、C棟（CREATIVE-SITE）、D棟（DISCOVERY-SITE）とアリーナ（体育館）の5つの建物で構成されており、C棟に置かれた附属図書館は、本と人、人と人をつなぐ「知の活動拠点」の役割を担っています。

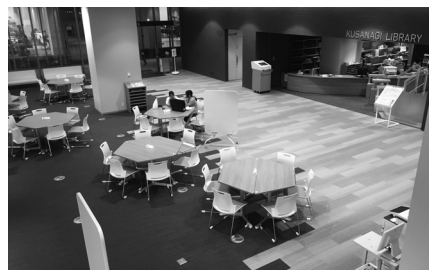
KUSANAGI LIBRARY はいわゆる図書館エリアで、常葉大学静岡瀬名キャンパス、富士キャンパス、短期大学の各図書館よりカリキュラムに沿って選出・移管した蔵書構成となっています。今後も学部構成に沿った収集を続けていく予定です。またこれまで各図書館で収集してきた資料については系列大学図書館との連携により、リクエストがあれば取り寄せに応じられるように整備を進めています。

KNOWLEDGE SQUARE はラーニング・コモンズとして机・椅子を可動式にし、さまざまな学びの

形に対応できます。また電子黒板やノートパソコンの貸出、成果物を出力するための機器類を設置し、学生の発信をハード面からサポートしています。今後は学内各課、センターの枠をこえたサポートを展開予定です。

一般の方にもご利用いただけますが、調査・研究・学習の目的で所蔵資料を利用される方の利用を原則としています。来館の際は、身分を証明できるものをご持参ください。

（図書課主任・杉山 潤子）



KNOWLEDGE SQUARE の様子

平成30年度 第26回静岡県図書館大会

日時	11月19日（月）	9:45～15:45
会場	グランシップ（静岡市駿河区東静岡）	
日程	9:20～9:45	受付
	9:45～10:25	開会式・表彰式
	10:25～10:40	情勢報告
	10:40～10:50	休憩
	10:50～12:45	対談・諸連絡 「地方自治に対する、図書館を核とした政策提言」

講師 北川正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）
糸賀雅児氏（慶応義塾大学名誉教授）

13:45～15:45	分科会	第1分科会 図書館サービス①	第4分科会 幼児・児童に対するサービス
		第2分科会 図書館サービス②	第5分科会 学校図書館
		第3分科会 子どもの読書活動	第6分科会 大学図書館

問い合わせ先 静岡県立中央図書館 企画振興課振興班 TEL 054-262-1246

※参加費は無料です ※各分科会への申込は、原則として先着順となります。 申込締切日 10月19日（金）

公立図書館等職員研修のお知らせ

今後行われる研修の日程の一覧です。ぜひご参加ください。

専 門 研 修	大学・専門図書館研修	9月11日（火）	常葉大学附属図書館（草薙）
	① 会場図書館事例発表 ② 会場図書館見学 ③ 講義「ライティング支援者が知っておきたい『よいレポート・論文』執筆のコツ」 講師：青山学院大学教授 野末俊比古氏		
	児童・青少年サービス研修	9月27日（水）	静岡県立中央図書館
	① 事例発表「愛知県公立図書館長協議会ヤングアダルトサービス連絡会の活動について」 発表者：愛知県図書館主査 岡千帆氏 ② グループワーク「静岡県のヤングアダルトサービス担当者の連携について考える」 ③ 講義「YAの心に寄り添う図書館づくり—高校司書に聞く 高校生の現状」 講師：埼玉県立浦和第一女子高等学校担当部長兼主任司書 木下通子氏		
	図書館サービス研修	12月12日（水）	静岡県立中央図書館
① 講義「多文化共生施策の動向と図書館の役割」 講師：静岡文化芸術大学副学長 池上重弘氏 ② 事例発表「浜松市立図書館の多文化サービス」 発表者：浜松市立図書館職員 ③ 講義・演習「多文化サービス」 講師：日本図書館協会多文化サービス委員会委員 平田泰子氏			